

昭和52年度第1回融合炉核データWG議事録

日 時 昭和52年7月14日(木) 13:30 ~ 17:30

場 所 日本原子力研究所 東海研 研2棟 222号室

出席者 田中, 更田, 菊池(土), 西村, 小林, 村田, 山本, 中島, 関(泰),
浅見(哲), 菰田(オブザーバ)

議 事

1. 委員の交代

伊東氏(日立)の代りに山本氏(日立)が出席することになった。

2. 実験データのプロット作業

田中氏よりプロット作業のこれまでの経緯の概略の説明があり, 作業上の問題点等について討議を行った。また, 作業の分担の確認を行った。

Li	菰田	V	田中
Be	中島→伊尾木	Cr	伊尾木→山本*
C	村田	Fe, Ni	
O, F	西村	Cu	菊池
Al	中島	Nb	神田
Ca	伊東→(八谷)*	Mo(naturalのみ)	関
Ti	小林	Pb, Np	更田, 浅見

(*後日, 山本氏より申し出があり, 委託調査を考慮して再調整した部分)

今後の作業の進め方について討議した結果, 次の手順で行うことにした。

- (1) CCDNからの new tape のリスト配布: 7月末日まで(核データセンター)
 - (2) プロットするデータの選択: 8月中旬まで
 - (3) missing data を input sheet に書く
 - (4) SPLINTへの input cards を作成する
- (1)は7月末日まで(核データセンター), (2), (3)は分担毎に8月中旬まで,

(4)は次日会合の時(8月下旬)に行う。

3. 核データ評価作業の進め方

田中氏より、西村氏の下の評価。北沢氏の (n, p) , (n, α) の評価の最近の状況についての説明があった。評価作業の進め方に関連して、更田氏より運営委員会に提出予定のWG再編成案の説明があり討議が行われた。

4. その他

- 更田氏より、1978年に行われる IAEA Advisory Group Meeting on Nuclear Data for Fusion について意見を求められている。とり挙げる item, 推せんする speaker があつたら8月前半までに出して欲しいとの話があつた。
- JENDL-2のアンケート結果を次回に示すことになった。
- JENDLに入れるにはどの範囲のデータが必要かとの質問があり、次回に実例を示すことになった。

・次回は8月下旬の予定

以 上